

宮城認定看護師スクール開設にあたって

宮城県看護協会 会長 上田 笑子

宮城県看護協会では、認定看護師養成コースについて平成16年から長い間に渡って検討してきた経緯があります。しかし当時は教員や臨床指導者等の人材、設置場所や運営等の経済的な面で宮城県看護協会独自で開講するには力不足がありました。

そのため宮城県に要請し、宮城県は重点事業として「皮膚・排泄ケア」認定看護師養成スクールを位置づけ、宮城大学に平成20年度～22年度の3カ年開講しました。

平成23年度は宮城大学独自で開設して継続しましたが、24年度以降については運営が困難等のため、宮城大学の協力を得て、宮城県看護協会が設置主体となって宮城大学に運営を委託し、継続することとなりました。

その理由としては、

1つとして、皮膚・排泄ケア認定看護師は、在宅や老健等の施設ではほとんどいなく、医療機関においても偏在している実情である。今後ますます少子高齢化が進んでいく社会においては、まだニーズがあると見込まれる。

2つとして、将来新たに認定看護師養成スクールを開設するには、人材の確保、実習場所等の確保等大変困難であり認可を得ることが難しいこととなります。

さらに認定看護師スクールを開設することで、看護職はさらに熟練した看護技術と知識を用いた水準の高い看護実践をすることができ、このことが地域住民に対する貢献となり、看護職としては専門性を探求し、自律した行動ができる質の向上に繋がります。

ぜひ看護職の皆さんには多数応募して下さるようお願いいたします。